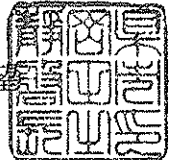




磐建道第24-1号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

静岡県磐田市長 鈴木 望



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

新緑の候、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から当市の道路行政に対し深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先般ご依頼のありました「道路整備の中期的な計画に対する意見」につきましても、別紙「道路整備の意見書」として回答させていただきます。

【担当】

建設部 道路建設課 鷺見

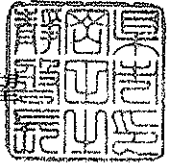
電話 (0538) 37-4897

FAX (0538) 32-3948

平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 様

静岡県磐田市長 鈴木 望



道路整備の意見書

磐田市は静岡県の遠州南地域に位置し、東海道見附宿など歴史・文化の積み重なった市であります。日本経済の大動脈としての国道1号や国道150号、あるいは東名高速自動車道が市内を東西に横切り、日々多くの車両が往来し慢性的な渋滞を引き起こしています。

また、本市が位置する中東遠地域等には御前崎港や静岡空港等の物流拠点施設等が整備されつつあり、国道150号等のアクセス道を早急に整備する必要があります。

本市は、平成17年4月1日には5市町村が合併し、南北に長い新たな市として発足しました。今後は市民が市内を安全に行き来するための南北東西幹線道路の整備が急がれており、これからも引き続き道路網の整備を進め「住み良い街づくり」を目指していきます。

つきましては、下記に主要な課題等について挙げさせていただきます。

記

1 磐田バイパスの早期4車線化

国道1号バイパスは朝夕の交通混雑が著しく、特に磐田バイパスより新天竜川橋区間は渋滞が増長しております。渋滞回避の車両による周辺道路への悪影響も出ており、早期4車線化により交通の円滑化を図る必要があると考えます。

また、磐田バイパスの無料化により磐田料金所の跡地が遊休地となっており、有効な土地活用の検討が求められています。

2 国道150号バイパスの延伸

国道150号は慢性的な交通渋滞を引き起こし、周辺住民の生活環境や産業経済活動にも大きな悪影響を及ぼしています。都市計画決定されている国道150号バイパスの早期整備を行なうことで、国道1号に次ぐ道路としての役割を果たし、安全で快適な生活環境の創出ができると考えます。

3 見附の小路の石畳化

江戸期の宿場町見附宿の活性化対策「景観形成事業」により、街の中を巡る小路を石畳化することで、宿場町の景観の保全と歴史財との融合を図り、見附地域の活性化に結び付けていきたいと考えています。

4 天竜川に新たな架橋

本市と浜松地域は天竜川を挟んで、産業面・日常生活面で益々緊密の度を高めており、天竜川が交流の大きな障害となっております。ついでには、地域永年の課題である（仮称）飯高橋の架橋について具体的な前進をお願い致します。

5 画一的な道路整備の見直し

画一的な補助金等の申請採択基準に基づいた道路は、時には周辺地域の実情にそぐわない必要以上の道路整備を求められる場合があり、自治体財政の大きな負担となっています。道路規格等において、自治体の要望が直接いかなる制度の見直しが必要であると考えます。

